

A-11 戦争中の人々のくらし

対象学年・教科
小学校・中学校全般



防空頭巾（画像パネル） [297×420]

戦時中、空襲時に頭を落下物などから保護するために使われた、綿の入った頭巾です。内側に、学校名・学年・組・氏名が書かれた名札がついています



モンペ（画像パネル） [297×420]

モンペは、作業着やふだん着としては袴の一種で、東北地方などで使われていましたが、第二次世界大戦中に女性の衣服として奨励されて全国に広まりました。腹部は紐でむすぶようになっていて、前の紐は長く、後ろの紐は短いです。

※ 防空頭巾とモンペは、複製品も用意しています。



防空電球（画像パネル） [297×420]

灯火管制電球カバー（画像パネル） [297×420]

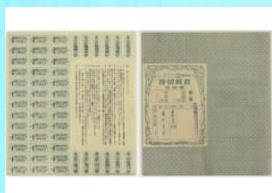
外に灯りが漏れないようにする道具です。電球は、側面を黒く塗り、真下に向く部分だけが明るくなるようにつくりです。どちらもスポットライトのようになったのだろうと考えられます。



鈴鹿高等女学校指定学生靴（画像パネル）

[297×420]

ふたと肩紐がなくなっています。食糧難の頃、ジャガイモの買い出しに使って、こわれたということです。ふたを留める金具があったと思われる場所に、「四西」と書かれています。鈴鹿高等女学校は東組と西組がありました。



衣料切符（画像パネル）

[297×420]

戦時統制下の昭和17年1月20日公布「繊維製品配給消費統制規則」により実施された切符です。これにより、お金があっても衣料切符がなければ購入できなくなりました。画像パネルは、昭和19年の衣料切符です。



木銃（画像パネル）

[297×420]

学校の軍事教練で使用されたものです。



亀山実業学校軍事教練写真（画像パネル2枚）

[297×420]

亀山町立亀山実業学校は、昭和10年9月に南崎の亀山町立亀山実業公民学校を改称してできた実業学校令の学校です。昭和16年9月に西丸に移転（現：亀山中学校）、昭和23年5月亀山高校となります。

上の写真は、この学校で行われた軍事教練の様子です。演習用手榴弾を投げる訓練も行われ、下の写真は、100m走や走り幅跳び等と共に記録を競う競技会の様子です。



演習用手榴弾（画像パネル）

[297×420]

これは演習用手榴弾です。当時の学校で行われていた軍事教練の時には、こうした演習用手榴弾を投げる訓練もありました。この写真の演習用手榴弾は、民家に保管されていたものです。



慰問袋（画像パネル）

[297×420]

戦地の兵士へ慰問のために送られたものです。中に御守りや日用品、煙草などの嗜好品他が入れられ、慰問の手紙も添えられました。

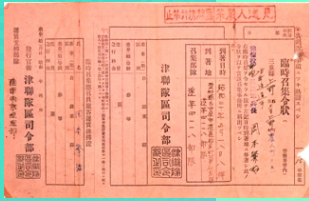


昭和19・20年度の通信簿（画像パネル）

[297×420]

亀山市内の国民学校で、戦争中の昭和19年度と終戦の年の昭和20年度に渡された通信簿です。この児童は、昭和20年度は初等科6年生（現在の小学6年生）で、昭和21年3月19日に卒業しています。

5年生と6年生の通信簿を比べてみると、昭和20年度の1学期だけ学業成績の評価と出席状況の記録がありません。



臨時召集令状（赤紙）（画像パネル）

[297×420]

この人は、1度徴兵されて兵役につきました。その後、除隊して家に戻っていましたが、もう1度兵隊として徴集されました。その時発行されたのが、この臨時召集令状です。



国民服・帽子・徴用赤たすき（画像パネル）

[297×420]

昭和15年11月1日に国民服令によって定められた男子の標準服です。国防色で軍服の代用にもできるように考えられていました。国民服には、乙号と甲号があり、パネルの帽子は甲号、上・下衣乙号です。

亀山には赤たすきが残されており、町名と氏名が記されています。



出征兵士見送風景写真（画像パネル）

[297×420]

本町で撮影された、出征兵士を見送っている写真です。



兵士を見送る子どもたちの写真（画像パネル）

[297×420]

旗を振って、出征兵士を見送る子どもたちの写真です。



出征寄書の日章旗（画像パネル） [297×420]

出征の時に、見送る方々が日章旗に寄書をしていました。



千人針（画像パネル）

[297×420]

戦争中「武運長久」の願いを込め出征兵士に贈られた御守りです。腹巻きになっています。女性が1人1針ずつ縫い、たくさんの女性から集められました。



千人力（画像パネル）

[297×420]

戦争中「武運長久」の願いを込め出征兵士に贈られた「力」の文字の御守りです。腹巻きになっています。「力」の文字は、たくさんの男性から集められました。